

令和 2 年 度

枚方京田辺環境施設組合
決算審査意見書

枚方京田辺環境施設組合監査委員

目次

第 1.	審査の対象	2
第 2.	審査の期間	2
第 3.	審査の方法	2
第 4.	審査の結果	2
第 5.	決算の概要	3
1.	決算の状況	3
2.	歳入	4
3.	歳出	6
4.	財産の状況	8
第 6.	意見	8

(凡例)

1. 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入（歳入は切り捨て）して表示したため、総数と内訳等が一致しない場合がある。
2. 文中及び各表中の比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入し、第 1 位まで表示したため、合計と内訳の比率が一致しない場合がある。
3. 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「－」 …… 比較不能、不用のもの又は該当数値のないものを示す
「△」 …… 負数を示し、増減を示すときは減を示す

枚 京 監 第 1 5 号
令和3年（2021年）9月28日

枚方京田辺環境施設組合
管理者 上村 崇 様

枚方京田辺環境施設組合
監査委員 分林 義一
監査委員 広瀬 ひとみ

令和2年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算書その他政令で定める書類を審査したので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

第 1. 審査の対象

令和 2 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算
令和 2 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
令和 2 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計実質収支に関する調書
令和 2 年度枚方京田辺環境施設組合財産に関する調書

第 2. 審査の期間

令和 3 年 8 月 2 4 日から令和 3 年 9 月 2 8 日まで

第 3. 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されているか、計数の正確性、事務処理の適否、予算執行状況等について検討するため、関係諸帳簿を照合し、また、関係職員から説明を受け審査を行った。

第 4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿と符合して正確であると認められた。また予算執行及び事務処理についても、例月現金出納検査・定期監査を通じて検査・監査した結果、おおむね良好に処理されていた。

第5. 決算の概要

1. 決算の状況

令和2年度の決算額は、予算現額1億5,686万5千円に対して

歳入 1億4,888万7千円

歳出 1億4,872万1千円

となっており、前年度に比べ、歳入で1,018万4千円(7.3%)増加、歳出で1,019万2千円(7.4%)増加している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに16万6千円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は8千円の赤字となっている。

歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	156,865	163,117	△6,252	△3.8
歳入決算額 (A)	148,887	138,703	10,184	7.3
歳出決算額 (B)	148,721	138,529	10,192	7.4
歳入歳出差引額(形式収支額) (A) - (B) (C)	166	174	△8	△4.4
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	0
実質収支額 (C) - (D) (E)	166	174	△8	△4.4
前年度実質収支額 (F)	174	300	△126	△42.0
単年度収支額 (E) - (F)	△8	△126	118	△93.8

2. 歳入

(1) 歳入の概要

決算額は1億4,888万7千円で、予算現額1億5,686万5千円に対して797万8千円の減となり、執行率は94.9%である。また、調定額1億4,888万7千円に対する収入率は100.0%である。

決算額を前年度と比較すると1,018万4千円（7.3%）増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

款	令和2年度				令和元年度		対前年度比較 (収入済額)	
	調定額	収入済額	収入率	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金 及び 負担金	134,225	134,225	100.0	90.2	138,403	99.8	△4,178	△3.0
国庫 支出金	14,488	14,488	100.0	9.7	0	0.0	14,488	-
諸収入	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	174	174	100.0	0.1	300	0.2	△126	△41.9
合計	148,887	148,887	100.0	100.0	138,703	100.0	10,184	7.3

※収入率・・・収入済額/調定額（以下同じ）

※構成比・・・収入済額合計に占める比率

(2) 歳入の収入状況

歳入の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
142,201	134,225	134,225	0	0	100.0

収入済額は1億3,422万5千円で、前年度に比べ417万8千円(△3.0%)減少している。内容としては、構成市からの負担金収入である。

2 款 国庫支出金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
14,488	14,488	14,488	0	0	100.0

収入済額は、1,448万8千円で、前年度に比べ皆増している。内容としては、環境省からの交付金収入である。

3 款 諸収入

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
2	0	0	0	0	0.0

4 款 繰越金

(単位：千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
174	174	174	0	0	100.0

収入済額は17万4千円で、前年度に比べ12万6千円(△41.9%)減少している。

3. 歳出

(1) 歳出の概要

決算額は1億4,872万1千円で、予算現額1億5,686万5千円に対して814万4千円の減となり、執行率は94.8%である。

決算額を前年度と比較すると1,019万2千円(7.4%)増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

款	令和2年度		令和元年度		対前年度比較 (支出済額)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	203	0.1	312	0.2	△109	△34.9
総務費	98,432	66.2	101,641	73.4	△3,209	△3.2
衛生費	50,087	33.7	36,577	26.4	13,510	36.9
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	148,721	100.0	138,529	100.0	10,192	7.4

(2) 歳出の性質別経費の状況

性質別に経費を分類すると、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区分		令和2年度		令和元年度		対前年度比較 (支出済額)	
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
義務的 経費	人件費	333	0.2	249	0.2	84	33.7
その他 経費	物件費	50,406	33.9	39,942	28.8	10,464	26.2
	補助費等	97,981	65.9	98,338	71.0	△357	△0.4
合計		148,721	100.0	138,529	100.0	10,192	7.4

※性質別分類区分

人件費・・・(節)報酬、災害補償費

物件費・・・(節)旅費、交際費、需用費、
役務費(自動車損害保険料を除く。)

委託料、使用料及び賃借料、備品購入費

補助費等・・・(節)報償費(報償金)、役務費(自動車損害保険料)、
負担金、補助及び交付金、償還金利子及び割引料

(3) 歳出の執行状況

歳出の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 議会費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
330	203	0	127	61.5

支出済額は20万3千円で、前年度に比べ10万9千円(△34.9%)減少している。

不用額は12万7千円で、執行率は61.5%となっている。

2 款 総務費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
104,643	98,432	0	6,211	94.1

支出済額は9,843万2千円で、前年度に比べ320万9千円(△3.2%)減少している。この主な要因としては、派遣職員の給与費等負担金などが減少したことによるものである。

不用額は621万1千円で、執行率は94.1%となっている。

3 款 衛生費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
50,892	50,087	0	805	98.4

支出済額は5,008万7千円で、前年度に比べ1,351万円(36.9%)増加している。この主な要因としては、事業者選定支援業務等に係る委託料などが増加したことによるものである。

不用額は80万5千円で、執行率は98.4%となっている。

4 款 予備費

(単位：千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,000	0	0	1,000	0

4. 財産の状況

(1) 公有財産（土地・建物）

該当なし

(2) 物品（取得価格又は評価額が50万円以上の備品）

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
財務会計システムハードウェア	1	0	1

(3) 債券

該当なし

(4) 基金

該当なし

第6. 意見

令和2年度の決算額は、歳入は1億4,888万7千円で、前年度に比べ1,018万4千円(7.3%)増加し、歳出は1億4,872万1千円で、前年度に比べ1,019万2千円(7.4%)増加している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに16万6千円の黒字となっているものの、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は8千円の赤字で、前年度に引き続き赤字となっている。

赤字となった要因は、構成市の負担を軽減するため、極力、余剰金を出さないという方針のもとで、きめ細やかで、的確な予算執行に取り組まれた結果である。

環境影響評価においては、令和2年度に事業着手前の手続きを終了し、現在、施設整備に向けた事業者選定作業が順調に進められている。

今後、事業者決定を経て本格的に施設整備が進められていく予定であり、これまで以上に効率的かつ効果的に事務事業を進めていくため、次の点に留意して取り組まれるよう要望する。

- ① 事務事業の執行については、今後も国庫補助金等の確保を図るとともに、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。
- ② 現在進められている事業者選定は、施設的设计・施工から稼働後の運営までを一体的に行うという、これまで例を見ない事業者の決定となることから、各事務手順にミスが発生しないよう各業務を慎重に進めるとともに、より一層の透明性、公平性、公正性及び競争性の確保を図ること。
- ③ 事務事業の実施にあたっては、その進捗に合わせ両市の市民等に対し、

適切な情報提供に努めるとともに、施設整備を進める際には、環境影響評価書に示された環境保全措置を確実に実施すること。

- ④ 予算編成にあたっては、事業の精査を十分行い、適切な予算措置に努めること。